

	項目名	内 容	地区・場所	備 考	担 当	回 答
1	下里地区地域づくり協議会の活動拠点について	<p>協議会が発足して、すでに4カ月以上経過しているにもかかわらず、未だ活動拠点が決まっておらず、活動や運営に支障をきたしている。早急に活動拠点の設置をお願いしたい。</p> <p>(当日追加) 善防公民館に事務所を設置をお願いしているが、条例があり難しいとの回答であった。地域づくり協議会の規約に事務局を設置、事務所は会長の自宅とするとされているが、個人宅への負担が大きい。条例改正の上、善防公民館の利用を認めていただきたい。</p>	下里地区	地域づくり協議会 会長 前田太蔵 (牛居町)	ふるさと創造部	<p>市としまして、地域づくりを行っていく地域の活動拠点が確保されていることは重要であると考えています。現状では活動拠点を有している地区とそうでない地区があり、各地区の状況と市の財政状況を鑑みながら、市全体の計画を検討してまいります。</p> <p>市全体の課題と考え、地域の活動拠点に対する方針や計画を検討していく上で随時、協議を行わせていただきたいと思います。</p> <p>(当日追加) 条例の改正は教育委員会との検討を要すること、公民館のない地域もあるため調整が必要であるが前向きに検討したい。</p>
2	市道の修復	<p>千ノ沢1号線 倉谷町700番地(山本貞一宅)から倉谷町836-1番地(小岩昌暢宅)までの間、アスファルト舗装にクラックが入り陥没。少しの降雨でも道路の東側半分が水没する。</p> <p>(当日追加) 県道への出入口の轍が危険であるため対応願いたい。</p>	千ノ沢町	添付資料 【下里地区①】	都市整備部	<p>ご指摘の千ノ沢1号線の水溜まりですが、現地を確認しました。路肩に土砂が堆積しており、雨水が側溝に流れない状況ですので、本年度中に路肩に堆積している土砂を撤去します。</p>

3	市道の修復	千ノ沢2号線 倉谷町643-1番地(別府建志宅)前に大きな窪みができており、大変危険である。	千ノ沢町	添付資料【下里地区②】	都市整備部	ご指摘の千ノ沢2号線の舗装の窪みですが、現地を確認しました。舗装の痛みが激しく打ち換えが必要であると判断しました。予算の執行状況を見ながら、本年度もしくは来年度、早期に舗装修繕を行います。
4	国道372号歩道の植栽撤去	<p>三口町内国道372号に沿って、富久錦酒造の西側・県道法華山線の交差点から姫路方面の奥猫尾地区まで、山側歩道にツツジの植栽がある。剪定管理が不十分で漆の木やセイタカアワダチソウなどの雑草が繁茂し、また、ツツジの背丈が部分的に伸びている。猫尾地区住宅付近進入口では出入りに国道左右の見通しが悪いため、部分的に伐採撤去している。また、食堂つくし付近では山側樹木が年々張り出してくるため、夏場の歩道はクモの巣もあり通行に支障。散歩の住民や生徒学生の通学路でもあるが、国道から歩道側が見えないため、防犯面や交通事故防止面から植栽の撤去をお願いする。撤去までの間は、十分な剪定、管理をしてもらいたい。</p> <p>(当日追加) 植栽の維持管理について基準はあるのか。</p>	三口町	添付資料【下里地区③】	都市整備部	<p>兵庫県に確認したところ、県では交通安全上、支障があり剪定等では対応できない街路樹については、順次撤去を進めており、当該路線については、11月から12月頃に強剪定や除草を行うとのことでありました。</p> <p>(当日追加) 以前は、植栽を作る方針であったが、現在は管理の観点からも作らない方針。国道372号線の植栽については引き続き撤去を要望します。</p>

5	信号機の存続	<p>「中西南」交差点の信号機が、令和4年9月1日現在の兵庫県警ホームページで、撤去を検討している信号機に上がっている。当交差点は通学路であり、信号機設置前は事故(車同士)も多く、危険なことから地元の永年の要望で設置された、新しい信号機である。特に冬場の朝は霧で見通しが悪く、市道から県道に出るのは、極めて危険である。信号機の存続を切に要望する。</p>	琵琶甲町470番地		都市整備部	<p>中西南交差点の信号機については、地元の強い要望により設置されたものと市も認識しています。地元の意向に反した一方的な撤去が行われないよう皆様の協力のもと努めてまいります。</p>
6	県道剣坂野条線の拡幅工事	<p>本課題については、以前から下里地区における要望の最優先課題としてきた。担当部局の答弁としては、「本件の必要性は十分理解するとして、対象地が県道であるため市独自で検討はできない。主幹である県、あるいは国も含めて検討したい」という回答をもらった。本年度になって市から「地域課題については実現可能な事業を優先する」という方針が出された。予算の関係から理解はできる。加西市の都市計画のうち、鶴野滑走路と戦争遺産を核とした、平和教育の推進は極めて重要だとも感じている。国道372号線のバイパスも、着実に整備されつつある。その一方で、地元住民は滑走路のバイパスの整備により、剣坂野条線の交通量が増加するのではないかと、危惧し不安を感じている。加西市の平和教育への取り組みを日本全国、世界に発信している加西市行政であるなら、将来の不安を感じている市民も包含した都市計画を行ってほしい思いから要望した。</p> <p>剣坂野条線拡幅工事の、県及び国との調整内容進捗状況と、今後の予定について回答願いたい</p>	県道剣坂野条線		都市整備部	<p>市道剣坂野条線の拡幅工事につきましては、下里地区の最重要課題であることは市も認識しています。</p> <p>事業化にあたっては、多くの町を結ぶ主要幹線道路ですので、「地元」に優先順位をつけて頂く中規模修繕工事ではなく、幹線道路改良工事の対象として整備できるか」を検討しているところで、特に通学路の区間を先行して整備したいと考えています。</p> <p>路線全体の整備には多大な費用が必要となります。今後も引き続き検討を行ってまいりますので、ご理解頂きますようお願いいたします。</p> <p>(当日追加) まず通学路から進めるが、全体の整備を進めていきたい。</p>